

総合的な鳥獣害対策推進のための 交付金予算の確保

【担当省庁】農林水産省

奈良県における取り組み

- 平成17年度に全国に先駆けて「農作物鳥獣害対策指導指針を作成」
- 野生鳥獣による農林水産業被害に対する総合対策を進めてきた奈良県農林部鳥獣害対策本部の設置
地域の農林振興事務所と市町村等関連団体で構成される「地域対策本部」を設置

総合対策の4本柱

- 1) 人材の育成
 - ①地域指導者の育成
 - ②地域における狩猟者の確保・育成
- 2) 生息環境管理
 - ①里地里山の環境整備活動の推進
 - ②生息環境に配慮した森林の整備及び保全活動の推進
- 3) 被害の防除
 - ①有害鳥獣を寄せ付けない環境づくり
 - ②農林地等への侵入防止柵の設置
- 4) 個体数調整
 - ①第二種特定鳥獣管理計画に基づく個体数管理
 - ②有害鳥獣の捕獲・駆除
 - ③捕獲獣の適正処理と有効活用



シカ・イノシシの侵入防止柵

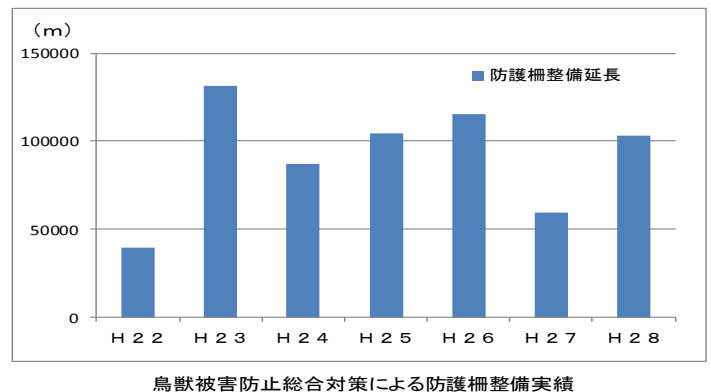
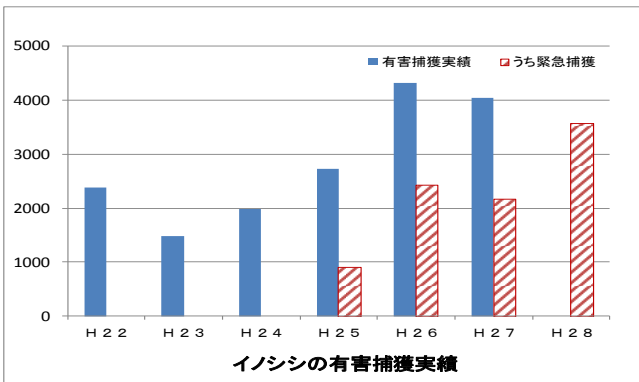


捕獲したイノシシ

鳥獣被害防止総合対策交付金による事業の実施

平成23年度 21地域協議会
平成24年度 21地域協議会
平成25年度 19地域協議会

平成26年度 16地域協議会
平成27年度 26地域協議会
平成28年度 25地域協議会



【関係市町村】 県内28市町村

【活用事例】

平成28年度(五條市)

・鳥獣被害防止施設の整備
事業費19,369千円

ワイヤーメッシュ柵6,000m、テキサスゲート
4カ所を一体的に整備したことで、

- ・維持管理の省力化、作業の効率化
 - ・市道交通の利便性確保
- を実現



防護柵(ワイヤーメッシュ柵)

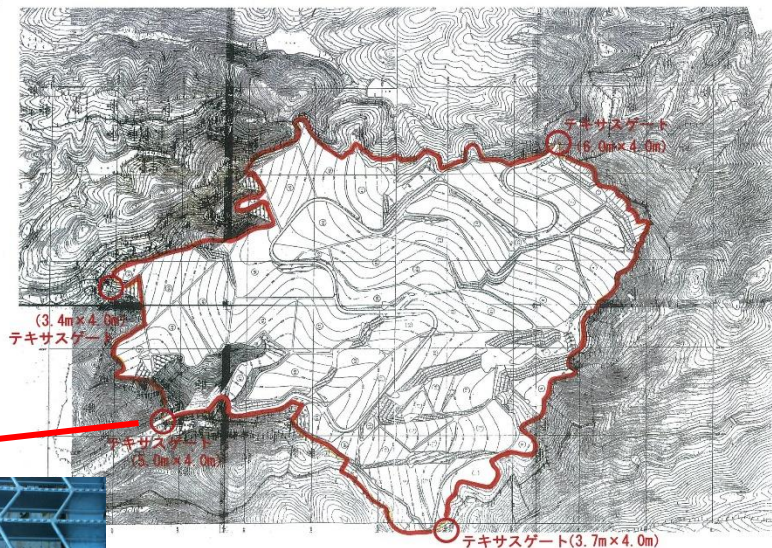


テキサスゲート

シカ・イノシシの蹄が間隙に挟まるため、
圃場への侵入を防止



グレーチング



防護柵とテキサスゲートの設置箇所

設置場所: 国営総合農地開発事業保天山団地
(受益面積 43.6ha)

平成29年度においても、周辺の果樹生産団地で、ワイヤーメッシュ柵とテキサスゲートの一体的整備を実施する予定。

国にお願いすること

被害をさらに減らすには、
捕獲と防護の両輪による対策が必要

要望内容

鳥獣被害防止総合対策交付金について、

● 緊急捕獲活動支援事業の確実な実行に対する支援

-
- ・予算確保の要望に対し、平成28年度補正予算を確保して頂き感謝します。
 - ・今後も捕獲活動の実行・推進に対する予算配分、支援をお願いしたい。